

自主的な学習の必要性について

なぜ自分から学習をする必要があるのでしょうか？



こうすれば効率よく
仕事ができそう！
みんなも喜んでくれ
る！

今までの経験を生
かして新しい事業
にチャレンジする
ぞ！



「社会で活躍できる大人」になるためには、自らの力で考えて取り組む力、新しいことに積極的にチャレンジする力が求められます。

そのためには・・・

成長期である小学校、中学校段階で、自ら学びを進める習慣を身に付けることが肝心です。

学校ごとにおける、家庭での勉強のイメージ	中学校	 【レポート・ドリル】	 【テスト勉強・受験勉強】
	小学校	 【宿題】 ・学校から指示されたもの。 ・学校で配付されるプリントなど。 ・必ず取り組む。	 【家庭学習】 ・国語・算数のドリル（「かんぺきくん」「スキルアップ」）で自らやるべきところを考慮してノートに取り組む。 ・国語や算数だけでなく、社会や理科など興味をもった内容。 ・疑問に思ったことを調べる。 ・日記。 ・音読、アルファベットの練習など。
身に付けたい力		毎日、家庭で学習する習慣を身に付ける。	自分から主体的に学習に取り組む意識を身に付ける。（6年生は毎日）

※ 時間の目安…学年×10分以上

家庭学習での保護者の方の関わりについて



勉強しなさい、と言われてもやる気がでない！
どうやって学習したらいいのかな・・・

いっしょに学習して楽しく学習習慣を付けよう！
親子で学習に取り組むとやる気アップ！

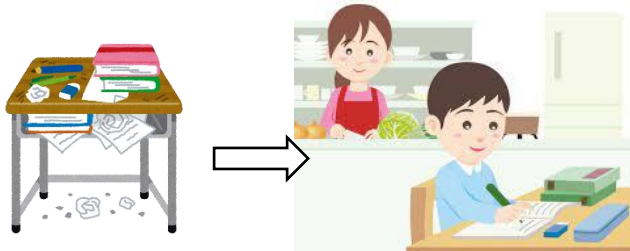


☆家庭学習、と言っても、まだまだ自力での学習は難しいのが小学生の現状です。保護者の方が関わることで、家庭学習に前向きな気持ちが生まれ、学習方法がよく分かり、自信が付いていきます。

＜家庭学習に主体的に取り組むための4つのポイント＞

①【環境を整える】

- 机の上は、**学習に関係するものだけ置く**ようにしましょう。
- テレビや音楽などは消して、**学習中は静かな空間を作る**ようにしましょう。
- リビング学習ですぐ近くに保護者がいるなど、**落ち着いて学習へ取り組める場所**を決めましょう。



②【学習の計画、目標の設定】

- 「1日ドリル〇ページ」「1日〇分は学習をする。」など、**取り組む時間や量**を決めましょう。
- 「漢字テストで〇点を取る。」や「難しい本を読めるようにする。」「〇月までにドリルを終わらせる。」などの**目標を立て**ましょう。
- 計画や目標を考える時は、**子ども主体で決める**ようにすることで、「やらされている」という感覚がなくなります。



③【1日（帰宅後）のスケジュール】

- 帰宅してから**の時間の使い方を決めさせることで、学習の時間を決めましょう。
- 予定を決めたら、**30分前や10分前などに「何をする予定だった？」**とリマインドのように声掛けをしましょう。
- 学習の途中には「調子はどう？」「**がんばっているね。**」などの声掛けをしましょう。
- 約束や決めたことが守られなかった時よりも、守ってできた時に、たくさん褒めてあげましょう。
- やろうとした**やる気を褒め、できるようになったことは一緒に喜ぶ**ことでお子様のモチベーションがアップしていきます。

④【続けることが楽しくなる工夫】

- 取り組んだら学校から配付される「宿題・家庭学習カード」にシールを貼って、**目に見える形で続けられていることが分かる**ようにします。
- 「〇ページ終わるのに何分かかかるか？」や「お母さんの作業が終わるまでにできるかな？」など、**ゲーム性をもたせ、タイムアタックのような感覚**で取り組めると集中力が高まることもあります。
- 丸付けは保護者が行い**、「～できたら、〇〇。」などのご褒美があってもやる気がアップします。

